

「農業」を通じた 経営課題・地域課題の解決をご支援します

企業・地域・官公庁の課題

既存事業の基盤強化

- 食関連のバリューチェーン強化
- 地域の活力向上
- 自治体との関係強化

新たな収益力の創出

- 環境の変化に影響を受けにくい事業の創出
- 既存アセットの活用

PR力向上

- 自社/地域のイメージアップ
- CSR・SDGsの推進

伴走型農業コンサルティングサービス

事業構想策定

- 課題解決のシナリオ策定
- ビジネスアイデアの検討・具体化
- ビジネスモデル検討
- 撤退条件の明確化

実行支援

【農業生産事業】

- 事業準備*: 土地選定、品目選定、設備設計・建設管理、人材戦略
- 生産計画作成～モニタリング、生産状況改善、生産技術支援
- 販売戦略策定～モニタリング、商品企画、マーケティング・ブランディング、販売支援

【周辺・関連事業】

- 事業準備*: 数値計画策定、実証パートナーの選定
- サービスの具体化～改善: 実装の体制構築、モニタリング、改善施策の立案

※農業法人の経営・事業継承、生産設備の資産譲渡にかかるご相談もお受けしております。

大和証券グループ金融ノウハウ

農・食関連業界専門知見

大和フード&アグリ(DFA) 概要

- 大和証券グループの、外部環境に左右されにくい強固な収益基盤確立のためのビジネスポートフォリオ拡充の一環として、「持続可能な農業」を実現すべく2018年に設立(大和証券グループ本社100%子会社)。
- 設立以来、(株)みらいの畑から(大分県玖珠町)、(株)スマートアグリカルチャー磐田(SAC磐田:静岡県磐田市)、(株)北海道サラダパプリカ(北海道釧路市)に順次経営参画し、トマト・パプリカの生産・販売を展開。2023年に自社ブランド「栄養のおくりもの」を立ち上げ。
- 各農園子会社で黒字化・事業化を達成、この経験を基に「伴走型農業コンサルティングサービス」を展開。



トマト

- ① (株)みらいの畑から (大分県)



パプリカ

- ② (株)SAC磐田 (静岡県)



- ③ (株)北海道サラダパプリカ (北海道)



自社独自ブランド

栄養のおくりもの



お問合せ先

大和フード&アグリ株式会社
生産部

〒100-6724 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
Email: dfa_info@daiwa.co.jp Webサイト: <https://www.daiwa-grp.jp/dfa/>



<コンサルティングサービスの事例>

事例 ① 運輸業×生産・販売支援

- 新規事業として果菜類の生産・販売事業に関心。
- 設備建設後の栽培技術導入、人材育成を継続的に支援するとともに、生産品の一部をDFAグループにて買い取り、販売。
- 参入後1年で黒字化を達成、追加投資を決定し、第二圃場を建設、生産規模を拡大。
- 拡大後も継続的に栽培技術高度化、買取販売支援を実施。

事例 ② インフラ業×参入準備

- 新規事業として大規模温室での農業生産・販売事業に関心。
- 生産開始後を想定した販売戦略の立案を支援。ECサイトや営業体制充実による自社販売戦略を具体化。
- 生産に向けた助成金申請、導入設備高度化、人材採用から教育に係るアドバイスを実施し生産開始準備に伴走。

事例 ③ 製造業×農業経営改善

- 農業参入後の恒常的な経営不振が課題。
- 生産・販売・経営管理の三つの観点から課題を洗い出し、解決の方向性を提案。
- 単位面積当たり生産量アップの具体的な対策と、販売コストダウンのための方針をアドバイスし、黒字化予算と詳細な事業目標作成、予算管理の仕組みづくりに伴走。

事例 ④ 不動産業×参入検討

- 農業団地の開発・運営に関心。
- 詳細収支計画作成に伴走し、参入候補地の優先順位付けを実施。
- 農業団地に入居、事業運営する事業者のメリットを整理。
- 農業団地建設に活用できる助成金の情報を収集し、活用方法について助言。

事例 ⑤ 官公庁×政策調査・提言

- 農林水産省「令和7年度経営発展・就農促進委託事業のうち第三者継承ガイドライン策定調査事業」を受託。
- 農業界における次世代の経営者を確保する手段として第三者継承(M&A)を捉え、先行事例調査、継承実行支援を行い、農業分野の第三者継承に関する指針をガイドラインとして取りまとめ(実施中)。

コンサルティングレポート

- 大和総研コンサルティングレポート「シリーズ 民間企業の農業参入を考える」等

セミナー講師等

- 農林水産省、日経ビジネス(共催)「農業参入フェア2024」
- 大手法律事務所主催「異業種からの農業参入」等

<コンサルティングサービスチーム>



久枝 和昇

DFA代表取締役社長・生産部長
SAC磐田代表取締役社長
みらいの畑から代表取締役社長

経歴

岡山大学大学院農学研究科(修士)、愛媛大学大学院連合農学研究科(博士)修了。農機メーカーでの農業プラント設計・施工経験を経て、2000年当時日本最大規模(8.5ha、トマト)の高度環境制御温室栽培による農園を起業。国内外の複数企業で栽培技術コンサルティング、果菜類の生産・販売事業の立ち上げに携わった後、DFAに参画し、現在農園子会社3社を含む事業全体の経営に従事。愛媛大学客員教授、GLOBAL.G.A.P日本国技術作業部会メンバー。

主な実績

- 大規模施設園芸事業の創業・運営
- 施設園芸による企業の農業参入総合支援
- 大規模施設園芸事業の経営・技術コンサルティング
- 海外視察ツアーの組成・運営
- 農業法人のM&A
- 食・農関係のファンドへのLP参画



藤田 葵

DFA生産部副部長

略歴

大手コンサルティングファームを経て、植物工場スタートアップにて事業開発、農業人材育成に携わる。生産子会社の代表取締役、工場長を経験。DFAでは中期経営計画、マーケティング、自社ブランド立ち上げを担当し、現在コンサルティング事業責任者。東京大学(修士)、政策研究大学院大学(修士)、現在京都大学農学研究科博士後期課程在籍中。

主な実績

- 新規事業企画
- 中期経営計画策定
- 認証取得(AsiaGAP、GGAP)(AsiaGAP指導員)
- 販売戦略、マーケティング、商品企画



飯野 祥行

DFA生産部次長

経歴

官公庁にて農業・農村整備事業、及びGAP(農業生産工程管理)の施策立案に従事後、日系シンクタンクにて企業向け戦略立案・新規事業検討支援を実施。その後、日系Sierにて企業・官公庁向けDX戦略策定・ビジネスデザインに従事した後に、DFAに参画。DFAでは、民間企業向けに農業及び農業周辺事業への参入支援、官公庁向けに調査・計画のコンサルティングサービスを担当。修士(農学)。

主な実績

- 中期経営計画・事業戦略策定支援
- 新規事業企画支援
- デジタル戦略策定・実行支援
- 官公庁向け調査・計画策定支援



上村 翔

DFA事業部長
SAC磐田代表取締役副社長
みらいの畑から取締役
北海道サラダパブリカ代表取締役社長

略歴

大学院で植物分子生物学の修士号を取得後、複数の企業で高度環境制御温室の立ち上げ、栽培責任者を担当。SAC磐田ではパブリカハウス等(合計3ha)の立ち上げを担い、冬作の日本最高生産量を達成。DFAによるSAC磐田買収後は農場長として会社運営を担い、翌年度黒字化を達成。中小企業診断士(2018年～)。

主な実績

- 大規模施設園芸事業の立ち上げ、運営、人材育成
- 大規模施設園芸事業の黒字化
- M&A後の農業法人のPMI



濱里 亮平

DFA生産部上席課長代理
みらいの畑から農場長

経歴

東京農工大学を卒業後、農業生産法人(葉物)にて7年間栽培責任者を担当し、拠点農場の拡大、運営体制構築に従事。DFAにおいては、M&A後の農業法人(最大2ha)にて農場長として会社運営、事業企画を担当した後、生産子会社の(株)みらいの畑からにおいて、高糖度ミニトマトの通年供給体制を実現し自社ブランド品での販売を促進、売上を約2倍に増進。

主な実績

- 環境制御型ハウスの運営
- 生産プロセス/仕組の構築
- 人材育成(生産管理者、パート)
- 事業企画(生産～販売計画策定支援)